

授業科目名	専 門 実 習 Ⅱ <i>Specialized Nursing Practicum II</i>					担当教員	専門領域の教員				
開講年次	2年通年	セメスター	3・4			時間数(単位数)	90(2)				
必修選択	選択	授業形態	実習			使用教室					
授業の目的	履修者各自が、それぞれの専門領域の実践力の向上を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。 尚、助産教育コースを受けるものは、分娩・産褥早期の継続事例（新生児を含む）やその家族に対して助産ケアを行い、助産実践力の向上をめざす。										
到達目標	1. 各自の専門領域で必要とされる実践力について文献等を通して明確にできる 2. 1に基づき自己の実践力を評価し、本実習で取り組む実習テーマを設定できる 3. 設定したテーマに基づき、実習計画の立案・実施・評価ができる 4. 文献や理論を活用して、実習の成果をレポートとして記述できる										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
	○	○	○	○	◎						
授業計画	<p>【方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各自の専門領域の地域・集団・個人を対象とし、フィールドにおいて、各自が設定したテーマに沿った実習を計画、実施する（フィールドの開拓、実習計画の交渉などを含む）。 実践力向上に向けて実施した実習の成果を、理論や文献を活用して、レポートにまとめる。 ※レポートは、実習終了後1ヶ月以内に提出する。 <p>【実習場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が目的にあったフィールドを選定する (選定にあたっては、各専門領域の教員と相談する) <p>【実習期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。 実習時間は2単位90時間とする。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要です。 《研究に伴うフィールドワーク》を確認してください。 										
学習方法	各自の専門領域あるいは関心領域での実習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して実習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる										
オフィスアワー	各専門領域の教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください										
テキスト	指定しない										
参考文献	指定しない										
評価方法	「課題に基づく実習成果」についてのレポート（60%）、目標達成度（40%）										